
第8 ビジョンの推進にあたって



第8 ビジョンの推進にあたって

本ビジョンは、他の計画との連携を図りつつ、適時にフォローアップしながら、今後の水道事業運営に影響を及ぼす社会情勢の変化等があった場合は、計画の見直しを検討します。

1 関係者の役割

県及び水道事業者の役割分担と県民に期待する役割について、次のとおり示します。

各主体	県	県内水道の方向性を示す「都道府県水道ビジョン」を策定し、ビジョンに掲げた理想像の実現に向けた取組を推進する。 また、水道事業者等への助言、研修会の実施等を通じて事業者の取組を促進するとともに、広域連携の推進を図るため水道事業者間の必要な調整や支援を行う。
	水道事業者	各種施策の取組を進めるとともに、近隣の水道事業者との各種連携策の課題を共有し、広域連携を検討しながら、水道事業ビジョンの策定や見直しを行い、将来を見据えて事業経営に取り組む。
	住民	水道の現状や課題に対する理解を深め、自らも水道事業の経営に参画している認識で水道に関わる。

2 フォローアップ

県は、水道事業の認可等の事務を執行している立場であり、また水道に関する各種統計調査を取りまとめていることから、県内水道事業者における事業の実施状況や実態等の把握に努めるとともに、必要に応じて市町村との協議・調整を行いながら施策の推進を図ります。

また、計画の基礎となる人口や給水量については、現時点で想定される要因（人口動態や水需要）に基づくものであり、今後の社会情勢の動向によっては大きく変化する可能性もあります。さらに、行政改革やさらなる経営効率化への要求など事業運営に影響を及ぼすような要因も考えられることから、必要に応じて見直しを検討します。

なお、計画のフォローアップにあたっては、『計画の策定（Plan）～事業の実施（Do）～達成状況の確認（Check）～改善策の検討（Action）』の連鎖である「PDCA サイクル」を実施することが必要です。このサイクルによって、当初計画の目標や事業実施における問題点、事業の有効性などを確認しながら、計画のさらなる推進や見直しを進めていきます。

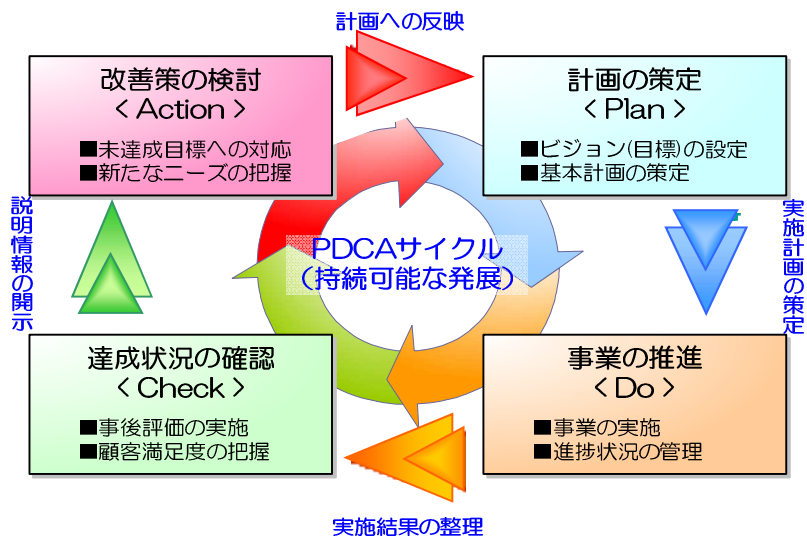


図 8-1 PDCA サイクルによる事業の見直しイメージ

2018年度いわて水道ビジョン策定検討会委員名簿

氏名	職業等	備考
◎伊藤 歩	岩手大学 理工学部 准教授（上下水道工学）	学識経験者
○栗田 但馬	岩手県立大学 総合政策学部 准教授（地方財政）	学識経験者
瀬川 愛子	岩手県地域婦人団体協議会 会長	消費者代表
千葉 高明	日本水道協会 岩手県支部 事務局長	水道関係団体代表
坂本 純一	盛岡市上下水道局 上下水道部長	水道事業者代表 （盛岡広域）
菊池 明敏	岩手中部水道企業団 局長	水道事業者代表 （県南広域）
藤澤 聡	釜石市水道事業所 所長	水道事業者代表 （沿岸南部広域）
三浦 義和	宮古市上下水道部 施設課長	水道事業者代表 （宮古広域）
外館 要一	久慈市水道事業所 所長	水道事業者代表 （県北広域）

◎：委員長 ○：副委員長

2019年度いわて水道ビジョン策定検討会委員名簿

氏名	職業等	備考
◎伊藤 歩	岩手大学 理工学部 教授（上下水道工学）	学識経験者
○栗田 但馬	岩手県立大学 総合政策学部 准教授（地方財政）	学識経験者
瀬川 愛子	岩手県地域婦人団体協議会 会長	消費者代表
鈴木 丈司	日本水道協会 岩手県支部 事務局長	水道関係団体代表
小原 俊巳	盛岡市上下水道局 上下水道部長	水道事業者代表 （盛岡広域）
小田島 敏之	岩手中部水道企業団 技監	水道事業者代表 （県南広域）
今入 義章	釜石市水道事業所 所長	水道事業者代表 （沿岸南部広域）
三浦 義和	宮古市上下水道部 施設課長	水道事業者代表 （宮古広域）
外館 要一	久慈市上下水道部 上下水道部長	水道事業者代表 （県北広域）

◎：委員長 ○：副委員長

